

1. 科目名 (単位数)	保育者能力開発演習Ⅱ (2 単位)		3. 科目番号	JNCD2106
2. 授業担当教員	ティームティーチング			
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	1 年次に保育者能力開発演習Ⅰ (専門) を修得していること。			
7. 講義概要	保育者能力開発演習Ⅰで学習した内容を踏まえて、保育者として必要な専門知識の定着を図り、保育士採用試験に対応する力を身に付ける。また、保育・教育に携わる者としての基本的知識を習得し、保育士・幼稚園教諭・保育教諭等の採用試験 (専門試験) に十分対応できる学力を身に付ける。			
8. 学習目標	1. 保育者として必要な専門知識を習得することができる。 2. 専門知識に基づいた意見や考えを文章で表現する能力を高め、作文・小論文試験に対応する力を身に付けることができる。 3. 応用問題に対応する力を身に付け、採用試験に役立てることができるようになる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各授業担当者が講義中に指示する。			
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 保育士採用試験情報研究会『スイスイわかる保育士採用専門試験』一ツ橋書店 『保育士幼稚園教諭論文・面接対策ブック』実務教育出版 文部科学省「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 保育者として必要な専門知識を習得することができたか。 2. 専門知識に基づいた意見や考えを文章で表現する能力を高め、作文・小論文試験に対応する力を身に付けることができたか。 3. 応用問題に対応する力を身に付け、採用試験に役立てることができるようになったか。 ○評定の方法 1. 授業への参加態度 20% 2. 小テスト等 40% 3. 課題提出状況とその成果 40%			
12. 受講生へのメッセージ	キャリア形成の最終章として、これまでの学びを振り返りながら身に付けてきた知識と技能を確かなものとし、自分が志す道に進めるよう、努力を重ねてください。			
13. オフィスアワー	後日通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	就職活動の方法と留意点	事前学習	自分の将来の進路について考える。	
		事後学習	就職活動の方法と留意点を復習する。	
第2回	就職対策① (履歴書・ES)	事前学習	履歴書・エントリーシートの見本に目を通し、注意点を把握する。	
		事後学習	履歴書・エントリーシートの書き方を復習する。	
第3回	就職対策② (面接)	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	面接のポイントを復習する。	
第4回	就職対策③ (小論文)	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	作成した小論文をもとにポイントを復習する。	
第5回	保育原理	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。	
第6回	教育原理	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。	
第7回	社会的養護、社会福祉	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。	
第8回	子ども家庭福祉、子ども家庭支援論	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。	
第9回	保育の心理学	事前学習	配付資料を読み、予習する。	
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。	
第10回	子どもの保健	事前学習	配付資料を読み、予習する。	

		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。
第11回	子どもの食と栄養	事前学習	配付資料を読み、予習する。
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。
第12回	保育内容	事前学習	配付資料を読み、予習する。
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。
第13回	乳児保育	事前学習	配付資料を読み、予習する。
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。
第14回	障害児保育	事前学習	配付資料を読み、予習する。
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。
第15回	保育実習理論	事前学習	配付資料を読み、予習する。
		事後学習	本時で学んだ内容を復習する。